ALEXON

http://www.alexon.co.jp/

株式会社 アレクソン

〒532-0011
大阪府大阪市淀川区西中島 4-3-24 新大阪木村第３ビル

お問い合わせ先　サポートセンター　東京　☎03-5645-8571
大阪　☎06-307-3237
受付時間：月曜～金曜　10:00～12:00・13:00～16:30
（祝祭日、年末年始、弊社休日を除く）

本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは、堅くお断りします。
本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

TIM2006C

TERMINAL ADAPTER　TD301／T301　User's Manual　ALEXON

ISDN
TERMINAL ADAPTER

ALEXON

取扱説明書

ISDNターミナルアダプタ
TD301／T301

Users Manual

はじめに

このたびは、TD300/T300 シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

TD300/T300 シリーズ（以下、共通の事項に関しては「本機」と呼びます）は NTT「INS ネット 64」にて、パソコンを利用したインターネットやパソコン通信及び電話機や FAX、各種 ISDN 機器を接続することが出来るターミナルアダプタです。

本機にて快適な通信環境を実現するために、ご使用前にこの取扱説明書をご精読下さいますようお願いいたします。

なお、本機を安全にお使いいただくために「安全上のご注意」は必ずお守り下さい。お読みになった後は手近なところへ大切に保管し、いつでもご覧になれるようにして下さい。

TD300 シリーズは DSU 内蔵、T300 シリーズは DSU 非内蔵です。
両シリーズは設置時の接続方法が異なるだけで、機器の操作方法は同一です。

輸出する際の注意事項

注意 本機（ソフトウェアを含む）は、日本国内向けの製品です。海外の規格などには準拠しておりません。
本機を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。あらかじめご了承ください。
This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

ご注意

（1）本書及び本機の内容の一部又は全部を無断で複写、複製することを禁じます。
（2）本書及び本機の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書及び本機は内容について万全を期していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがございましたら、ご連絡ください。
（4）本機（ハードウェア、ソフトウェア及び関連文書）を運用した結果については、（3）項に関わらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
（5）本機の故障、誤動作、不具合あるいは停電時の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純正経済損失につきましては、いっさいその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

INS ネット 64 は NTT の商標です。
その他、記載されている各会社名及び各製品名は各社の商標又は登録商標です。

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文をよくお読みいただき、内容をよくご理解のうえ、正しくご使用ください。

■絵表示の説明

表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告： 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合か、軽傷または、物的損害※1が発生する頻度が高い場合。

⚠注意： 取扱いを誤った場合、使用者が重傷を負う可能性は少ないが、傷害を負う危険性が想定される場合、ならびに物的損害※1のみの発生が想定される場合。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し説明しています。

⚠ △マークは、危険、警告を含む「注意」を示しています。
左図の例は、「特定しない一般的な注意、警告、危険の通告」を示しています。

⃠ ⃠マークは、してはいけない「禁止」を示しています。
左図の例は、「分解禁止」を示しています。

● ●マークは、必ず実行していただく「強制」や「指示」を示しています。
左図の例は、「差込プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。

⚠ 警告

●万一異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く！
煙、変な音、においがするなど、異常状態のまま使用しないで下さい。火災や感電の原因となります。このようなときには、すぐに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店や弊社にお問い合わせ下さい。

●AC 100V(50または60Hz)以外の電源電圧では使用しない
定格以外の電源電圧で使用しますと火災や故障の原因となります。

●異物を入れない
本機側面の通気孔に金属類や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。
万一異物が入った場合、すぐ電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店か弊社にお問い合わせ下さい。

●分解したり改造したりしない
本体カバーをはずして内部を触ったり、本機を改造しないで下さい。
火災や感電、故障の原因となります。
修理の際は、お買い上げの販売店か弊社にお問い合わせ下さい。

※1 物的損害とは、家屋家財及び家畜ペットに関わる拡大損害を示しています。

⚠ 警告

●本機の近くに水や飲料などの液体、ヘアースプレーなどの可燃物の入っている容器を置かない
内部に液体や可燃性の強い気体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。

●水・薬品がかからないように
引火・火災や感電の恐れがあります。

●電源コードを大切に
コードに重いものを載せたり、熱器具に近づけたりしないでください。
コードが損傷します。コードに傷がつくと火災や感電、故障の原因となります。
また、コードを加工したり、無理に曲げたり引っ張ったりすると、火災や感電の原因となります。コードが痛んだ場合には、お買い上げの販売店か弊社にお問い合わせ下さい。

●本機を落としたり破損した場合は
そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、背面のコネクタをすべて抜いておいて、お買い上げの販売店か弊社にお問い合わせ下さい。

●極めて高い信頼性や安全性が必要とされる機器に接続しない
本機は一般オフィスや家庭のOA機器と接続する用途の製品として設計されています。
幹線通信機器や業務の中心となるコンピュータシステム、人命に直接関わる医療機器のような、極めて高い信頼性や安全性が必要とされる機器には、接続しないで下さい。

⚠ 注意

●本機は日本国内のみで使用
国外での使用は、電源電圧等の問題により、本機が故障することがあります。

●電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いて下さい。電源コードを引っ張って抜くと電源コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

●ぬれた手で電源プラグに触らない
ぬれた手で電源プラグを抜いたり、差し込んだりしないで下さい。感電や火災、故障の原因となることがあります。

●通風孔をふさがない
本機は内部の温度上昇を防ぐために、本体ケースに通気孔があります。タオルなどをかけたりして、通気孔をふさがないで下さい。内部に熱がこもり、やけどや火災、故障の原因となることがあります。
また、本体両サイドの通気孔や背面のコネクタ類に、金属類、燃えやすいもの、水分などが入ると、本機の故障の原因となるだけでなく、火災や感電の原因となります。万一異物が入った場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、背面のコネクタをすべて抜いて、販売店または弊社までご連絡下さい。
また、通気孔は絶対にふさがないで下さい。

●風通しの悪いところに置かない
本機をラック内など、密閉された場所に置かないでください。また、本機を積み重ねて使用するなど、本機の上にものを置いて使用しないで下さい。
熱がこもり、火災、故障の原因となることがあります。

●温度が高くなるところに置かない
直射日光の当たるところや発熱する器具の近くなど高温になるところに置かないで下さい。
熱がこもり、やけどや火災、故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

●湿気やほこりの多いところに置かない
湿気やほこりの多い場所や調理台、加湿器の近くに置かないで下さい。火災や感電の原因となることがあります。

●ラジオやテレビなどのすぐ近くに置かない
ラジオやテレビなどのすぐ近くに置きますと受信障害が発生する恐れがあります。

●不安定な場所やお子様の手の届くところに置かない
ぐらついた台や本機より面積が小さいものの上や傾いた所、また衝撃や振動の加わる所など、不安定な場所やお子様の手の届くところに置かないで下さい。
落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

●踏み台にしない
本機の上に乗らないで下さい。倒れたりしてけがや故障の原因となることがあります。
特にお子様のおられる家庭では注意をお願いします。
また、本機の上に重いものを載せないで下さい。故障の原因となることがあります。

●電源プラグとコンセントの定期点検を
電源プラグとコンセントは長時間つないだままですと、ほこりや塵がたまります。
そのままの状態で使用を続けますと、火災や感電の原因となることがあります。
１年に１回は電源プラグとコンセントの定期的な掃除をし、接触不良などを点検してください。

●逆さまに設置しない
本機を逆さまなど本機を逆さまにした状態で設置しないで下さい。
また、布等でくるんだ状態での使用もおやめ下さい。特にビニールやゴム製品が接触している状態での使用もおやめください。火災や故障の原因となることがあります。

●アース端子を接地する
本機は、落雷などの影響を最小限に押さえるための落雷対策を行っていますが、念のため本機のFG端子を使って接地してください。

●お手入れの時は
本機の本体が汚れた場合は、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ、よく絞ってから軽く拭いてください（決して、プラグやコネクタ等の外部機器接続部をこの方法で拭かないでください）。薬品類（ベンジン・シンナーなど）は使わないでください。変質・変色する場合があります。プラグやコネクタ等の外部接続部にほこりがたまった場合は、接続先からはずし、機器を傷つけないよう軽く乾拭きしてください。いずれの場合も、必ず、電源プラグをコンセントから抜き、背面のコネクタをすべて抜いてから行ってください。

●雷が鳴り始めたら、電源プラグをコンセントからはずす
落雷の恐れのあるときには、直ちに使用をやめ、本機の電源プラグをコンセントから抜き、背面のコネクタをすべて抜いてから、TELポートから通信機器との接続ケーブルをはずしてください。また、本機からISDN回線のISDNケーブルもはずしてください。落雷時に内部に電流が流れ込むと、本機を破壊する恐れがあります。

●本機を長時間使用しないときは
本機を長時間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜き、背面のコネクタを全て抜いてください。

●データの保存について
通信中に回線や本機の障害が発生すると、データが消失しますので、データのバックアップを事前に行うなどの処置を行ってください。

⚠ 注意

●電池を使用・交換するときの注意
電池は正しくお使い下さい。使い方を間違えると液漏れや破裂することがあります。次の点にご注意下さい。
・保証期間内の単３アルカリ乾電池をお使い下さい。
・電池をショートさせたり、分解したりしないで下さい。
・電池の＋－方向を確認して入れて下さい。
・電池の液漏れによる装置の故障については当社の保証対象外となります。
・新しい電池と古い電池は混用しないで下さい。
・使用済みの電池を火中に投げないで下さい。
・停電がなくても半年に１回の割合で新しい電池に交換して下さい。

●電池の取り扱い注意
電池を取り外した場合は、小さなお子様が電池をなめたり、誤って飲むことがないようにして下さい。
電池は幼児の手の届かないところへ置いて下さい。

●接続ケーブルについて
データ端末（パソコン）との接続の際には、市販の全ピン接続のRS-232Cケーブルをご使用ください。ISDNとの接続には、付属のISDNケーブルをご使用ください。
（INSネット64以外の回線と接続する場合の動作は保証できません）

●接続するアナログ回線機器に対するご注意
・技術基準適合認定を取得している機器を接続してください。

⚠ ご使用上の注意

●接続するアナログ回線機器に対するご使用上のご注意
・本機には硬貨収納信号送出機能がありませんので、ピンク電話等は接続できません。
・１つのTELポートには１台のアナログ通信機器を接続してください。
同一のTELポートに複数台のアナログ通信機器を接続しますと、使用できないことがあります。
・ISDNの場合、電話回線の線路損失がないため、伝送損失がアナログ電話回線に比べて低く、電話機では音量が大きくなります。場合によってはキンキンと割れるような受話音となり、装置の設定を変更する必要があるケースもあります。
・ISDNの場合、線路損失が低く、端末機器での送信から受信への回り込み（エコー）が出やすい状態にあります。
本機も送信・受信兼用の２線を送信受信別々の４線に分離する変換回路があるため、結果としてわずかながらも送信から受信への回り込み（エコー）が存在します。振幅変調信号を利用した画像電送装置等では、アナログ電話回線ではうまく利用できていたとしても、ゴースト等の現象として影響が生じることがあります。
特に写真電送装置等の映像、画像用の電送装置を接続する場合にご注意願います。
・着信時の呼び出し信号については、アナログのビジネスホンで利用されている単体電話機用アダプタと同じく、経済的な理由で方形波形式となっております。
したがって、16Hz交流信号（正弦波）しか着信検出しない装置では、自動応答等の機能が動作しない場合があります。
留守番電話機・FAX等の自動応答機能を使っているものはご注意願います。
・電話機自体がフッキングを使用して特別な機能を持っている場合（親機と子機間の操作等）、２章で述べるフッキングを利用した機能がご使用になれません（または、電話機と本機両方の機能が動作してしまいます）ので「２－８－９．フッキングの設定（フッキング制御）」を参考にフッキングを無効にして下さい。
・フレックスホン（本機独自の類似機能も含む）や通話中ポート切替を使用すると、電話機の料金表示機能は正常に動作しないことがあります。

目次

はじめに 1
安全上のご注意 2
目次 6
第１章　ご使用になる前に 8
１－１．本機の特長 8
１－２．製品の構成 10
１－３．各部の名称とはたらき 12
１－４．停電時の動作 16
１－５．機器の接続 17
１－６．スタンドアダプタの取り付け方法 20
１－７．ISDN（INS ネット 64）の加入手続き 22
第２章　電話を使う 26
２－１．主な電話機能 26
２－１－１．電話操作説明上の基礎用語 26
２－１－２．フレックスホン 27
２－１－３．擬似フレックスホン 29
２－１－４．その他の主な対応サービス・独自機能 31
２－２．基本操作 32
２－２－１．電話をかける 32
２－２－２．直前にかけた電話番号に再度かける（リダイヤル） 33
２－２－３．特殊な番号をかける（特殊ダイヤル） 33
２－２－４．電話を受ける 34
２－２－５．内線を呼び出す（内線呼出） 35
２－２－６．外線通話を内線にまわす（内線転送） 36
２－２－７．通話中に外線がかかってきたら（割込着信） 37
２－３．便利な機能の使い方（設定の手順） 38
２－３－１．電話を使った設定 38
２－３－２．パソコンを使った設定 39
２－４．便利な電話のかけ方［発信関連］ 40
２－４－１．短縮ダイヤルで電話をかける 41
２－４－２．電話をかける時に電話番号も通知する（発信者番号通知） 43
２－４－３．この通話中だけ割込音を鳴らさないようにする（プリフィックス発信１） 44
２－４－４．機器種別を変更して電話をかける（プリフィックス発信２） 45
２－４－５．履歴ダイヤル（発着信履歴） 46
２－４－６．通話を保留にして別の相手に電話をかける（通信中発信） 49
２－４－７．ダイヤル方式の電話機を使用する 51
２－４－８．受話器を取ると特定の電話番号にすぐかかるようにする（ホットライン発信） 52
２－４－９．ダイヤル完了タイマの設定 53
２－５．かかってくる電話をコントロールする［着信関連］ 54
２－５－１．接続電話に別々の電話番号をつける（ダイヤルイン） 55
２－５－２．サブアドレスを使う［発着信対応］ 57
２－５－３．電話の受け方 応用編（着信制御） 58
２－５－４．特定の相手からかかってきた時、他の電話には取らせない（プライベート呼出） 63
２－５－５．特定の電話番号だけを着信させる（識別着信） 64
２－５－６．TEL ポートに機器属性をつける（機器種別） 65
２－５－７．ナンバー・ディスプレイ対応電話機を使う 66
２－６．かかってくる電話をコントロールする［呼出音関連］ 67
２－６－１．INS なりわけサービス 68

２－６－２．特定の相手から電話がかかってきたとき、呼出音を変える（擬似なりわけ） 69
２－６－３．FAX を無音で受ける（新無鳴動着信） 70
２－６－４．TEL １の電話よりも遅らせて鳴らす（TEL ２遅延呼出） 71
２－６－５．内線呼出音を変える（内線呼出音） 71
２－６－６．呼出音の周波数を変える（呼出音周波数） 72
２－７．電話を転送させる［転送関連］ 73
２－７－１．かかってきた電話を自動的に別の電話に転送する（着信転送・フリー転送） 74
２－７－２．フリー転送の制御 76
２－７－３．通話中の電話を転送する（通信中転送） 78
２－７－４．転送先が話し中の時、他の電話に転送させる（追っかけ転送） 79
２－７－５．何回か電話を鳴らした後、転送させる（遅延転送） 79
２－７－６．外出先から着信転送 をセットする（リモート設定１） 80
２－７－７．外出先から転送先を変更する（リモート設定２） 83
２－７－８．転送時にアナウンスを流す（転送アナウンス） 84
２－７－９．INS ボイスワープ 85
２－８．その他の便利な機能 86
２－８－１．別々の電話の二人と同時に話す（三者通話） 87
２－８－２．コールバック機能を使う 88
２－８－３．PHS などから遠距離に電話をかける（中継機能） 90
２－８－４．通話を保留にして、他の TA に接続している電話で受ける（通信中機器移動） 92
２－８－５．電話のボリュームを調整する（通話音量） 92
２－８－６．通話料金を調べる（料金表示） 93
２－８－７．ISDN 網からの切断音がなくなった後の制御（ローカル切断音） 94
２－８－８．切断信号（CPC）の設定 94
２－８－９．フッキングの設定（フッキング制御） 95
２－８－10．フッキング関連微調整（フッキング微調整） 96
２－８－11．フッキングを＃ボタンで代用する 97
第３章　インターネットに接続する 98
３－１．始める前に 98
３－２．Windows で接続する 102
３－３．MacOS で接続する 110
第４章　データ通信 114
４－１．ISDN によるパソコン通信の概略 114
４－２．AT コマンド 116
４－３．リザルトコード（レスポンス） 124
４－４．レジスタ 127
４－５．NO CARRIER 付加情報 136
４－６．データ通信の交信記録形式 141
第５章．付録 142
５－１．バージョンアップ方法 142
５－２．ディップスイッチ 146
５－３．通話操作一覧 147
５－４．TEL ポート設定操作一覧 148
５－５．設定内容表示操作一覧 150
５－６．うまくいかない？ 152
５－７．アフターサービスについて 155
５－８．主な仕様 156
５－９．TEL ポートに交換機やビジネスホンを接続されるお客様へ 157
５－10．索引 159

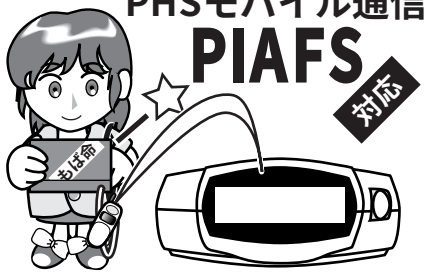
第１章　ご使用になる前に

１－１．本機の特長

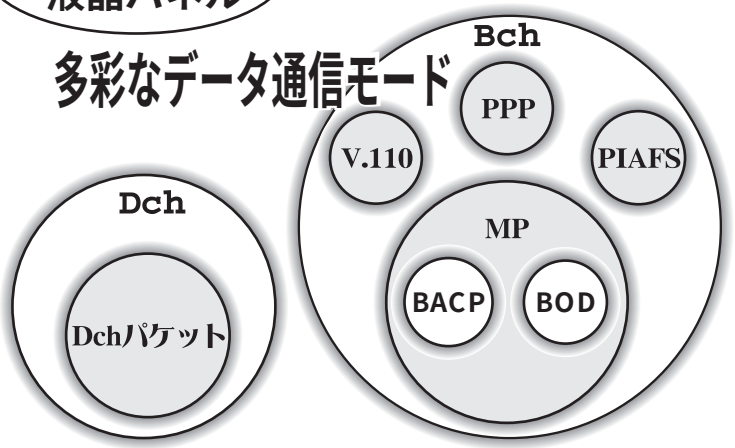
128kbps高速通信を
自在にコントロールする
BOD/BACP対応

万一の停電でも安心の
停電対応

PHSモバイル通信
PIAFS 対応

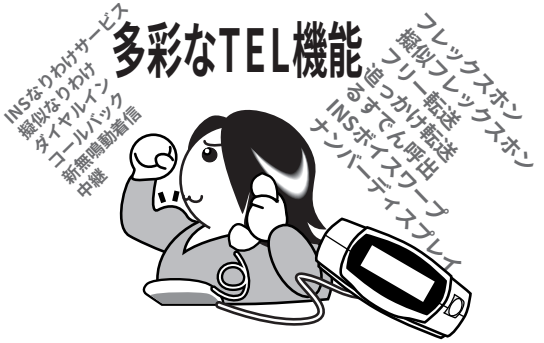


多彩なデータ通信モード

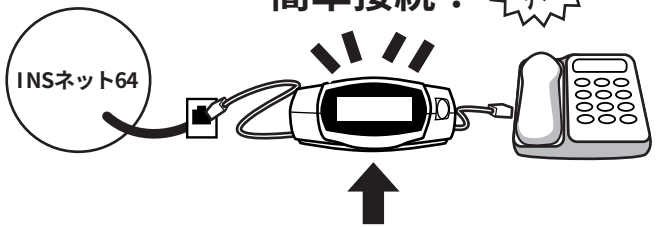


電話を受ける前に
かかってきた相手がわかる
Dナンバー・ディスプレイ対応

多彩なTEL機能



DSU内蔵で
簡単接続！



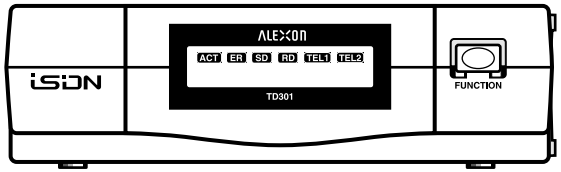
壁のモジュラージャックと
電話機の間に接続するだけ！

1－2．製品の構成

ご購入いただいた製品には、次のものが含まれています。御確認ください。
足りないものがあるときには、お買い上げいただいた販売店にご連絡下さい。

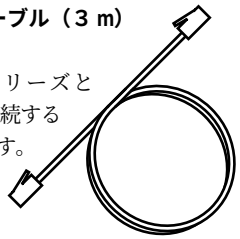
1－2－1．TD301の梱包内容

□ターミナルアダプタ TD301 本体　1台



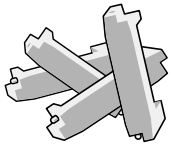
□ISDN回線ケーブル（3 m）
1本

TD300 シリーズと
ISDN網を接続する
ケーブルです。

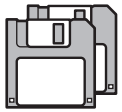


□スタンドアダプタ
4個1組

本機を縦置きで
使用したり、段
積みで使用する
ことの出来るアダプタです。



□フロッピーディスク
2枚

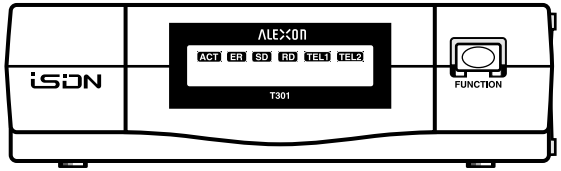


Windows 用 Mac-
OS 用各1枚
主な収録内容は
次の通りです。
［Windows 用］（DOS/V Format）
・Windows 用モデム定義ファイル
・アナログポート設定ユーティリティ
・バージョンアップユーティリティ
［MacOS 用］（MacOS Format）
・MacOS 用 CCL ファイル
・アナログポート設定ユーティリティ
・バージョンアップユーティリティ

その他
□取扱説明書　1冊
□保証書 / ご愛用者カード　1部

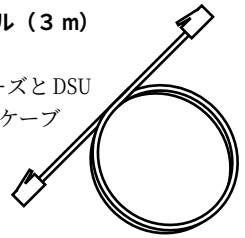
1－2－2．T301の梱包内容

□ターミナルアダプタ T301 本体　1台



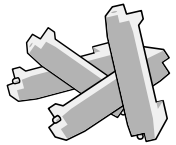
□S バスケーブル（3 m）
1本

T300 シリーズと DSU
を接続するケーブ
ルです。

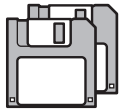


□スタンドアダプタ
4個1組

本機を縦置きで
使用したり、段
積みで使用する
ことの出来るアダプタです。



□フロッピーディスク
2枚

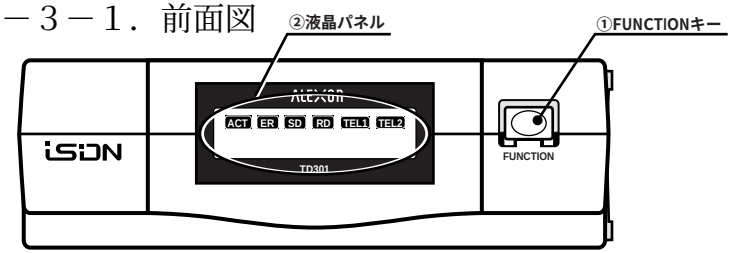


Windows 用 Mac-OS
用各1枚
主な収録内容は次の通りです。
［Windows 用］（DOS/V Format）
・Windows 用モデム定義ファイル
・アナログポート設定ユーティリティ
・バージョンアップユーティリティ
［MacOS 用］（MacOS Format）
・MacOS 用 CCL ファイル
・アナログポート設定ユーティリティ
・バージョンアップユーティリティ

その他
□取扱説明書　1冊
□保証書 / ご愛用者カード　1部

1－3．各部の名称とはたらき

1－3－1．前面図



イラスト：TD301

① FUNCTION キー

次の３つの機能があります。

a）DATA ポート端末速度切替

FUNCTIONキーを２度押すことで、以下の様に端末通信速度を切り替えます。
但し、G２＝５の時は、230.4kbps固定なので無効になります。

・230.4kbps
・115.2kbps 以下自動認識

参考：P106 ワンポイント

b）回線切断

DATA ポート通信中に FUNCTION キーを２度押すことで、回線の強制切断が出来ます。

c）着信転送切替

FUNCTIONキーを２秒間押し続けることで、着信転送のセット・解除が出来ます。
なお、２秒間押し続けない場合は、セット・解除はできません。

d）設定初期化

FUNCTION キーを押したまま、電源を立ち上げると全ての設定を初期化します。
液晶パネルが、”P-115200 ”を表示するまで、FUNCTIONキーを押し続け、電源を切らないようにして下さい。

②液晶パネル

デジタル通信状態、着信相手番号、通話料金、アナログ設定確認等を表示します。

マークの意味	
ACT	表示：　電源が入っている状態。ISDN回線正常。 点滅：　電源が入っている状態。ISDN回線異常。 未表示：　電源が入っていない状態。
ER	パソコンからのER信号がONの時に表示。※エラーの意味ではありません。
SD	データ送信中表示。
RD	データ受信中表示。
TEL1	表示：　TEL１ポートに着信転送がセット中。（表示優先） 点滅：　TEL１ポートに接続された電話等アナログ通信機器が使用中。 未表示：　TEL１ポートに接続された電話等アナログ通信機器が未使用。
TEL2	表示：　TEL２ポートに着信転送がセット中。（表示優先） 点滅：　TEL２ポートに接続された電話等アナログ通信機器が使用中。 未表示：　TEL２ポートに接続された電話等アナログ通信機器が未使用。

a）DATA ポート状態表示

[通信中]

通信モードと回線速度を表示します。

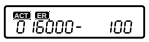
例

PPP、64kbps にて通信中。
PPP、128kbps にて通信中。
V.110、38.4kbps にて通信中。
VCパケット、9.6kbpsにて通信中。
PVCパケット、9.6kbpsにて通信中。
PIAFS、32kbps にて通信中。

[切断時]

通信終了後、約 30 秒間表示されます。
左より切断理由３桁、診断符号３桁、"－"の後、料金表示。
料金表示は最大５桁で、10 万円以上は "EEEEE" と表示されます。

例



切断理由016、診断符号000※2、料金 100 円

b）TEL ポート状態表示

[着信時]

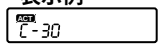
着信相手番号表示。着信開始から約１分間表示します。
なお、番号通知のない場合には両端の三角のみ表示します。

表示例

[通信終了時]

通信終了後、約 30 秒間通話料金が表示されます。
("C-"に続き料金を表示)
料金表示は最大10桁で、11桁以上は "EEEEE" と表示されます。
着信時等ISDN 回線からの料金通知がない場合には、表示しません。

表示例



[設定表示]

設定の"＊"を"－"に置き換えて表示します。
設定を確認するには、TELポートに接続されている電話機から㋕に続き確認したい設定項目をダイヤルすることにより、液晶に表示されます。

例　操作　㋕⑨㋅⓪（通話音量）
　　表示

（通話音量レベル３）

なお、詳細の操作方法は、「５－４．TEL ポート設定操作一覧」P148 をご覧下さい。
表示時間は約 10 秒間です。

※２“000”は通知なしを含みます。

[料金表示]

TEL ポートに接続されている電話器から以下の操作をすることにより、通話料金を表示します。

㋕㋮⓪
前回通知された料金を約10秒間表示します。

㋕㋮㋕
通知された料金の合計を約10秒間表示します。

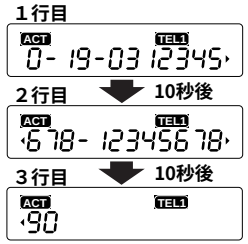
㋕㋮⑳~㊴
指定コールバック料金を約10秒間表示します。

続けて着信があった場合

続けて着信があったり、表示が重なった場合には、後から表示されるものが優先されます。
ただし、DATA通信中表示の場合、TELポート関連の表示が終了した後に、まだ通信中ならば再び表示されます。

表示内容が、１行で終わらないとき

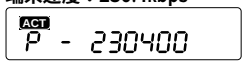
設定表示と料金表示および、着信相手番号表示において、１行で終わらないときには、２回もしくは３回に分けて表示します。各行はそれぞれの表示時間の間表示し、次行がある場合には▶で、前行がある場合には◀で表示します。
右図は、短縮19番に03-1234-5678サブアドレス1234567890を登録している場合の例です。



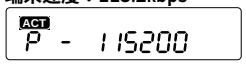
アイドル時の表示

通信をしていないアイドル時にはパソコンとの端末速度を表示します。なお、パソコン未接続でも設定されている端末速度を表示します。

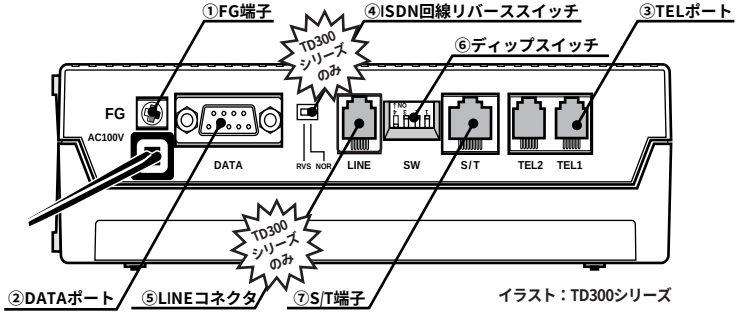
端末速度：230.4kbps



端末速度：115.2kbps



1－3－2．背面図



①FG端子
アースに接続して下さい。

②DATAポート
デジタル通信用端子です。パソコンなどとRS-232Cケーブルで接続します。

③TELポート
アナログ機器からのモジュラーコードを接続します。

④ISDN回線リバーススイッチ
（TD300シリーズのみ）
INSネット64回線の極性を反転させるスイッチです。

⑤LINEコネクタ
（TD300シリーズのみ）
付属のISDNケーブルを使って、INSネット64回線と接続します。

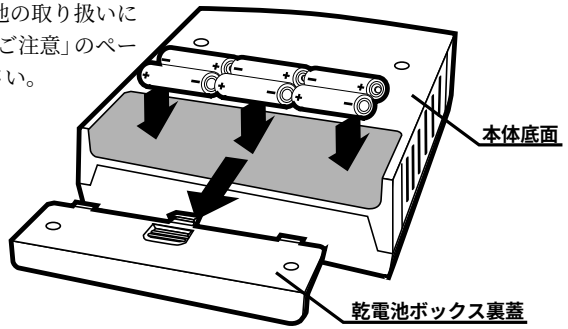
⑥ディップスイッチ
終端抵抗や停電モードの設定を行います。参照P146。

⑦S/T端子
TD300シリーズの場合は、この端子にISDNケーブル※3を介してISDN機器を接続できます。
T300シリーズの場合には、この端子にISDNケーブルを介してDSUを接続します。

※3 TD300シリーズには、S/T端子用のISDNケーブルは添付していません。ご注意ください。

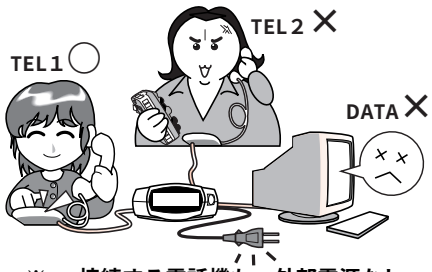
1－3－3．底面図

本機の底面には停電時のための乾電池ボックスがあります。
アルカリ単３乾電池を６本入れてください。停電時にはTEL １のみ動作するようになります。
なお、電池の方向は、正しくお入れ下さい。また、乾電池の取り扱いに関しては「安全上のご注意」のページをよくお読み下さい。



1－4．停電時の動作

本体背面ディップスイッチの３をONにし、本体底面の乾電池ボックスに乾電池をいれると、停電時でもTEL1 ポートが動作可能になります。
停電発生後、約10秒間は現状の動作を維持しますが、約10秒以上停電が続く場合には、全ての通信は切断されます。その後はTEL1ポートのみ使用可能な状態になります。
停電動作中は液晶パネルの ER が点滅します。
なお、停電中乾電池が消耗した場合には液晶パネルに右図のように表示します。
停電動作後、停電が復旧すれば、約10秒後に正常動作を開始します。
また、この切替時には通信は切断されます。



※ **接続する電話機も、外部電源なしに動作できるものでないと停電時にご利用になれません。**

電源コンセントを抜いた状態で乾電池を入れると停電時動作を致します。

乾電池は電源コンセント接続後にお入れ下さい。

1－5．機器の接続

1－5－1．接続上の注意

1．接続するときは、本機の電源ケーブルを必ずコンセントから抜いてから行ってください。

2．ISDN回線のモジュラーコンセントとの接続または、DSUのモジュラーコンセントとの接続は、付属のISDN ケーブルをお使いください。

3．本機の背面の DATA ポートとパソコンとの接続には、市販の全ピン接続の RS-232Cケーブルをお使いください。

4．TD300 シリーズ及び、終端抵抗付きのコネクタを利用していないT300 シリーズの場合には、終端抵抗の設定は「あり」に、つまりディップスイッチ１、２をONのままにしてください。終端抵抗なしの設定（ディップスイッチ１、２をOFF）にすると、動作不良の原因になります。
なお、ISDN回線上に複数のISDN機器を接続している場合には、最終に接続している機器の終端抵抗をありにして、本機は「終端抵抗なし」に設定してください。

1－5－2．TD300シリーズとモジュラーコンセントの接続

TD300 シリーズと壁のモジュラーコンセントを接続する前に、次のことを行ってください。

1．INS ネット 64 の申し込み時に、工事の日程を決めます。
2．既にある電話回線をISDN回線に切り替える場合で、電話回線のコネクタがモジュラーコンセントではないときは、工事の際に変更してください。
3．INSネット64の工事を終了後に、本機を添付の ISDN ケーブルを介し、モジュラーコンセントと接続してください。

1－5－3．接続方法

1．TD300 シリーズの場合は、ISDN 回線のモジュラーコンセントと本機を、付属の ISDN ケーブルで接続します。T300 シリーズの場合は、DSU と本機を付属の ISDN ケーブルで接続します。

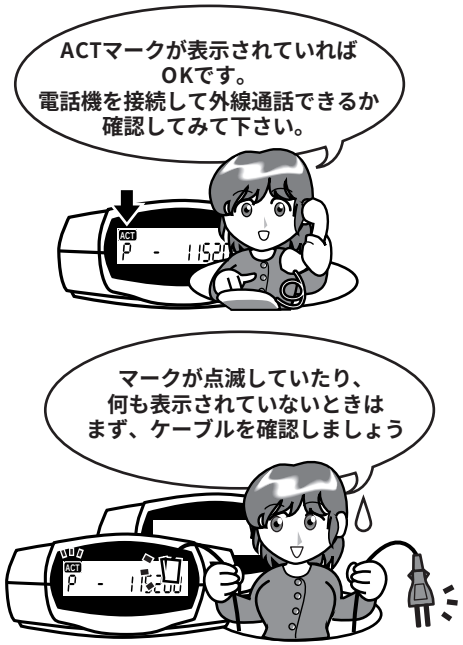
2．本機背面の電源ケーブルを電源コンセントに差し込んで、電源を入れます。
（本機には電源スイッチはありません。電源の ON/OFF, リセットは電源コンセントの抜き差しで行います。）

3．電源ON時に本機のセルフチェックが行われます。
その後、正常ならば液晶パネルの **ACT** が表示します。電話を接続して電話がかけられることを確認してください。

4．**ACT** が点滅している場合は、添付の ISDN ケーブルが正しく接続されているかどうかを確認してください。また、電源を OFF にして、再度 ON にし、**ACT** が表示するか確認して、電話がかけられるかどうか確認してください。

5．それでも **ACT** が点滅している場合は、電源を OFF にし、背面の ISDN 回線リバーススイッチを NOR から RVS に切り替えて、再度電源を ON にし、**ACT** が表示するか確認して、電話がかけられるかどうか確認してください。（TD300 シリーズの場合）

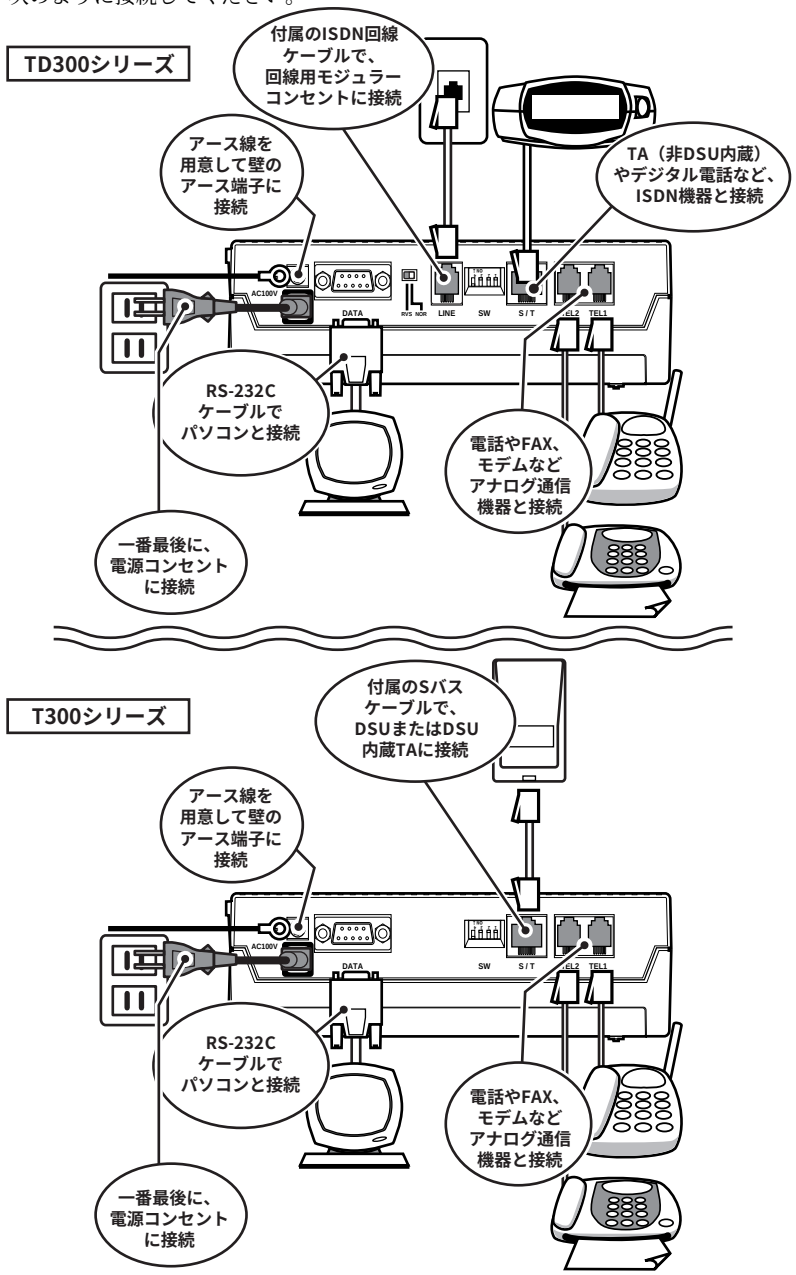
6．状況が変わらない場合は、NTT で工事が完了しているかどうかをご確認ください。工事完了ならば、NTT に DSU 折り返し試験を依頼してください。



ダイヤルパルスとプッシュホンの切替が出来る電話機の場合には、プッシュホンを推奨します。

1－5－4．接続図

次のように接続してください。

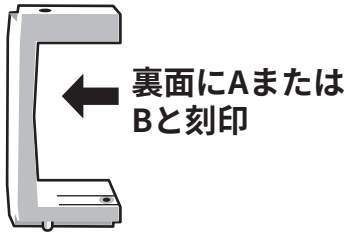


1－6．スタンドアダプタの取り付け方法

本機には、積み重ねたり縦置きでご使用するためのスタンドアダプタが付属しています。アダプタは、２種類（各２個 計４個）あり、それぞれ取り付け位置が決まっています。
次の説明に沿って指定の場所に取り付けていただきますようお願いいたします。
指定の場所に取り付けていただかないと、左右側面の通風口を塞ぎ、通気の悪化による異常動作の原因となります。

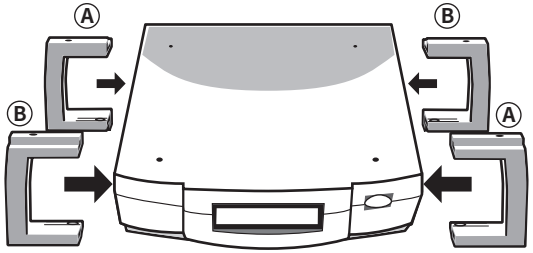
①アダプタＡとアダプタＢの見分け方

右図の矢印で示すアダプタの裏面にＡもしくはＢと刻印されています。
※ ABS とも刻印されていますが、これは関係ありません。

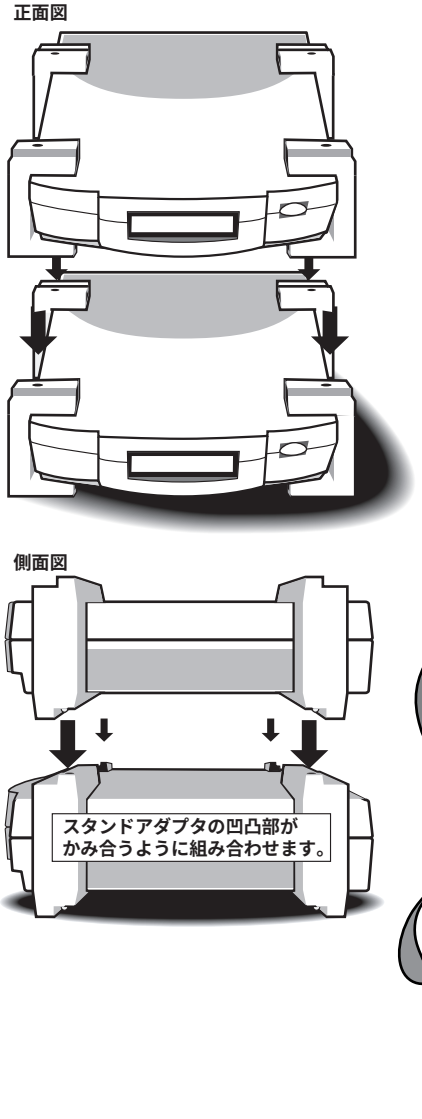


②取り付け位置

右図のように本体に空いている取り付け用の穴にはまるように、お取り付け下さい。
アダプタに穴が空いている方が上部になります。



③積み重ね方法



本機をラック内など、密閉された場所に置かないで下さい。スタンドアダプタを装着しない状態での積み重ねの使用や本機の上にものを置いての使用は、しないで下さい。熱がこもり、火災、故障の原因となることがあります。

1－7．ISDN（INS ネット 64）の加入手続き

本機をご利用いただくためには、お客様の方で NTT の INS ネット 64 のお申込みが必要です。お申込みの際には、NTT の "INS ネット 64 お申込票" に次のようにご記入、または該当する箇所の□を塗りつぶしてください。

"INS ネット 64 お申込票" には［基本機能版］と［高機能版］の二種類があり、本書では［基本機能版］を元に用紙記入のポイントのみを記載しています。（1998 年 3 月現在）

1－7－1．「INS ネット 64 お申込票」への記入方法

① 接続する通信機器

a．通信機器の名称

TD300 シリーズの場合（DSU 内蔵）

1 行目に機種名をご記入ください。

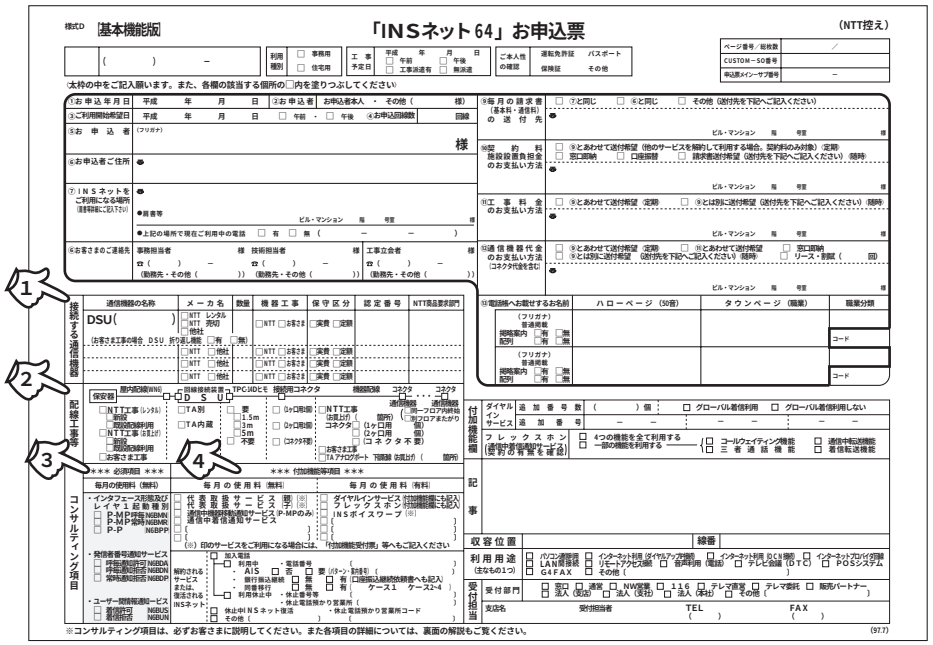
同じ行にある DSU 折り返し機能の有無は、□有を選択してください。

T300 シリーズの場合（DSU 非内蔵）

2 行目以降に機種名をご記入ください。

b．メーカ名

□他社にチェックしてください。


様式D　［基本機能版］

「INSネット64」お申込票

（NTT控え）

太枠の中をご記入願います。また、各欄の該当する個所の□内を塗りつぶしてください。

①お申込年月日　②お申込者本人・その他（様）

③ご利用開始希望日　④お申込回線数

⑤お申込者（フリガナ）　様

⑥お申込者ご住所

⑦INSネットをご利用になる場所（登録料金に記入下さい）

⑧毎月の請求書（基本料・通信料）の送付先

⑨契約料　施設設置負担金のお支払い方法

⑩工事料金のお支払い方法

⑪通信機器代金のお支払い方法

⑫電話帳へお載せするお名前　ハローページ（50音）　タウンページ（職業）　職業分類

通信機器の名称　メーカ名　数量　機器工事　保守区分　認定番号　NTT商品要求部門

DSU（　）

配線工事等

コンサルティング項目

付加機能欄

記事

収容位置　線番

利用用途（主なもの1つ）

受付担当

※コンサルティング項目は、必ずお客さまに説明してください。また各項目の詳細については、裏面の解説もご覧ください。　（97.7）

② 配線工事等

a．屋内配線

NTT の保安器から、お客様のモジュラージャックまでの工事です。

□NTT 工事（レンタル）または□NTT 工事（お買上げ）のいずれかを選択してください。

b．回線接続装置 DSU

TD300 シリーズの場合（DSU 内蔵）

□TA 内蔵を選択してください。

T300 シリーズの場合（DSU 非内蔵）

□TA 別もしくは他に ISDN 機器をご利用であれば、その環境に応じた選択をしてください。

c．機器配線

□お客様工事を選択してください。

③ コンサルティング項目（必須項目）

a．インタフェース形態及びレイヤ 1 起動種別

□P-MP 常時を選択してください。P-P には、しないでください。

b．発信者番号通知サービス

□呼毎通知許可または□呼毎通知拒否のいずれかを選択してください。

（常時拒否を選択すると、発信者番号が通知できなくなります。）

c．ユーザ間情報通知サービス

□着信許可を選択してください。

④ コンサルティング項目（付加機能等項目）

ご利用になる付加機能を指定してください。

既設の電話回線の電話番号を変更しないようにする「同番移行（無料）」や電話番号を複数利用する「ダイヤルインサービス（有料）」、「フレックスホン（有料）」は、この欄で指定する必要があります。なお、「ダイヤルイン」「フレックスホン」等 "INS ネット 64 お申込票" に※がついている項目は［基本機能版］"INS ネット 64 お申込票" であれば同票の付加機能欄に、［高機能版］"INS ネット 64 お申込票" であれば別紙 "INS ネットサービス付加機能受付票" に、サービスの詳細をご記入ください。

ダイヤルインサービスを利用して、電話番号を 2 つ使う場合には次のように記入して下さい。

追加番号（1）個　　■グローバル着信利用

1－7－2．記入例

本機（TD301）を購入し、従来の電話回線をISDNに切り換え、電話番号は従来のままにして、ダイヤルイン契約で、もう1つ電話番号を使用する場合の記入例です。なお、工事等は配線の形によって相違が生じる場合もあります。

様式D　【基本機能版】「INSネット64」お申込票　（NTT控え）

次枠の中をご記入願います。また、各欄の該当する□内を塗りつぶしてください

①お申込年月日　平成　年　月　日　②お申込者　お申込本人 ・ その他（　　）　様）

③ご利用開始希望日　平成　年　月　日　□ 午前 ・ □ 午後　④お申込回線数　回線

⑤お申込者ご住所　様

⑥お申込者ご住所　様

⑦INSネットをご利用になる場所（請書等詳細に記入下さい）　様　ビル・マンション　階　号室

⑧お客さまのご連絡先　事務担当者　様　技術担当者　様　工事立会者　様

●上記の場所で現在ご利用中の電話　□ 有　□ 無（　　）

接続する通信機器

通信機器の名称	メーカ名	数量	機器工事	保守区分	認定番号	NTT商品要求部門
DSU（　TD301　）	□NTT レンタル □NTT 売切 ■他社（アレクソン）	1	□NTT ■お客さま	□実費 □定額	T98-0032-0/ U98-0015-0	
（お客さま工事の場合、DSU 折返し機能 ■有 □無）						
	□NTT □他社		□NTT □お客さま	□実費 □定額		
	□NTT □他社		□NTT □お客さま	□実費 □定額		
	□NTT □他社		□NTT □お客さま	□実費 □定額		
	□NTT □他社		□NTT □お客さま	□実費 □定額		

配線工事等

保安器（MDF/IDF）
■NTT工事（レンタル）
□NTT工事（お買上げ）
□お客さま工事

回線接続装置
□ DSU
□ TA別
■ TA内蔵

TPC-MDFモジュラコネクタ
□ 1m
□ 3m
□ 5m
■ 不要

機器間接続
□NTT工事（お買上げ）コネクタ（□1ケ口用 □2ケ口用）
■お客さま工事（TAアダプタポート下回線 収容位置）

屋内配線
□NTT工事（お買上げ）（□1ケ口用 □2ケ口用 □（コネクタ不要））
■お客さま工事

機器配線
□NTT工事（お買上げ）コネクタ（□1ケ口用 □2ケ口用 □（コネクタ不要））
■お客さま工事

コネクタ…通信機器
□ 通信機器
□ 通信機器
□ 通信機器
□ 通信機器
□ 通信機器
□ 通信機器
□ 通信機器
□ 通信機器
□ 通信機器
□ 通信機器
□ 通信機器
□ 通信機器
□ 通信機器
□ 通信機器
□ 通信機器
□ 通信機器

保守区分	NTT商品要求部門
□実費 □定額	
□実費 □定額	
□実費 □定額	
□実費 □定額	
□実費 □定額	

※ 付加機能等項目 ※※※
毎月の使用料（無料）

・インタフェース形態及びレイヤ1起動識別
□ P-MP呼毎　■ P-MP常時　□ P-P

・利用者番号通知サービス
■ 呼毎通知許可　□ 呼毎通知拒否
□ 常時通知拒否

・ユーザ間情報通知サービス
■ 着信許可　□ 着信拒否

※ 必須項目 ※※※
毎月の使用料（無料）

・発信者番号通知サービス
□ 呼毎通知許可　□ 呼毎通知拒否
□ 常時通知拒否

・ユーザ間情報通知サービス
■ 着信許可　□ 着信拒否

毎月の使用料（有料）

代表取扱サービス（親）（※）
代表取扱サービス（子）（※）
■ 通信中着信通知サービス（P-MPのみ）
□ P-MP呼毎 NGBMP
□ P-MP常時 NGBPM
□ P-P NGBPP

ダイヤルインサービス（※）
フレックスホン（INSボイスワープ）（※）
（　　）
（　　）

■お客さま工事
（TAアダプタポート下回線 収容位置）

（※）印のサービスをご利用になる場合には、「付加機能受付票」等へもご記入ください

加入電話
・ AIS
・ 銀行振込継続
・ 呼制限移行
・ 休止中INSネット復活
その他（　　）

要（リターン・斜利）（　　）
□ 否　□ 無
■ 有（□非通知継続依頼書へも記入）
ケース1　ケース2-4

XXXX-XX-XXXX

解約されるサービスまたは、復活されるINSネット

休止中INSネットの営業所からの営業所コード
（　　）

ユーザー間情報転送サービス
■ 着信許可　□ 着信拒否

※コンサルティング項目は、必ずお客さまに説明してください。また各項目の詳細については、裏面の解説もご覧ください。

⑨毎月の請求書（基本料・通信料）の送付先
□ ⑦と同じ　□ ⑥と同じ　□ その他（送付先を下記へご記入ください）
ビル・マンション　階　号室

⑩契約 / 施設設置負担金のお支払い方法
□ ⑥とあわせて送付希望（他のサービスを解約して利用する場合、契約者のみ対象）定期
□ 翌口振替　□ 口座振替　□ 郵便振替用紙（送付先を下記へご記入ください）随時
ビル・マンション　階　号室

⑪工事料金のお支払い方法
□ ⑨とあわせて送付希望（定期）　□ ⑨とは別に送付希望（送付先を下記へご記入ください）随時
ビル・マンション　階　号室

⑫通信機器代金のお支払い方法（□はNTT以外を含む）
□ ⑨とあわせて送付希望（定期）　□ ⑪とあわせて送付希望　□ 窓口精算
□ ⑨とは別に送付希望（送付先を下記へご記入ください）随時　□ リース（　回）
ビル・マンション　階　号室

⑬電話帳へお載せするお名前
ハローページ（50音）　タウンページ（職業）　職業分類
（フリガナ）
普通掲載　□有　□無
掲載案内　□有　□無
配列　□有　□無
コード
（フリガナ）
普通掲載　□有　□無
掲載案内　□有　□無
配列　□有　□無
コード

ダイヤルインサービス　追加番号数（　）個　□ グローバル着信利用　□ グローバル着信利用しない
追加番号　－　－　－　－
フレックスホン　□□ 4つの機能を全て利用する　□□ コーリングインディング機能　□□ 通信中着信機能
□□ 三者通話機能　□□ 着信転送機能
□□ 上記の機能を全て利用しない
（選択の有無を確認）

付加機能関連

収容位置　線番

利用用途（該当するもの1つ）
□□ ハロゴ通信用　□□ インターネット用（ダイヤルアップ接続）　□□ インターネット用（ADSL接続）　□□ インターネットプロバイダ関連
□□ CATV用（　　）　□□ その他　□□ テレビ電話（DTC）　□□ POSシステム

受付部門　□□ 営業　□□ 法人（支社）　□□ 法人（本社）　□□ 116　□□ テレマ営業　□□ その他　□□ テレマ委託　□□ 販売パートナー（　　）
受付担当者　契約担当者　支店名　TEL（　　）　FAX（　　）

（97.7）

様式A-1　【高機能版】**INSネット64お申込票(1/2)**　（NTT控え）

契約者回線番号	（　　）　－	利用種別	□事務用 □住宅用	工事予定日	平成　年　月　日 □午前 ・ □午後	申込票メイン・サブ番号	－
						ページ番号／総枚数	／

〈太枠の中をご記入願います。また、各欄の該当する個所の□内を塗りつぶして下さい。〉

①お申込月日	平成　年　月　日	②お申込者	様 ☎（　　）　－
③ご利用開始希望日	平成　年　月　日　□午前 ・ □午後	④お申込回線数	回線
⑤ご契約者（住民票・登記簿上のお名前）	（フリガナ）		様
⑥ご住所（住民票・登記簿上のご住所）	〒		
⑦INSネットをご利用になる場所 ※請書等詳細にご記入下さい	〒　ビル・マンション　階　号室 ●ご利用になる場所の店舗名等 ●上記の場所で現在ご利用中の電話　□有 ・ □無（　－　－　）		

⑧配線工事等

保安器（MDF/IDF）
屋内配線
■NTT工事（レンタル）
□NTT工事（お買上げ）
□お客さま工事

回線接続装置 DSU
□NTT工事（レンタル）
□NTT工事（お買上げ）
■お客さま工事

機器配線
□NTT工事（お買上げ）コネクタ□（1ケ口用　個）□（2ケ口用　個）□（コネクタ不要）
■お客さま工事

●コネクタ設置場所　□ 同一フロアー内に終結する　□ 別フロアーをまたがる
※設置場所を指定される場合は略図を添付願います。

⑨接続する通信機器

通信機器の名称	メーカ名	認定番号	数量	NTT商品要求部門	機器工事	保守区分
DSU（　TD301　） （DSUお客さま工事の場合のみ　折り返し機能の有無　■有 □無）	アレクソン	T98-0032-0/ U98-0015-0	1		□NTT □お客さま	□実費 □定額
					□NTT □お客さま	□実費 □定額
					□NTT □お客さま	□実費 □定額
					□NTT □お客さま	□実費 □定額
					□NTT □お客さま	□実費 □定額

⑩お客様の連絡先　事務担当者　様 ☎（　）　－　技術担当者　様 ☎（　）　－　工事立会者　様 ☎（　）　－

⑪パケット通信モード利用の有無　□ 有　□ 無　●ご利用の場合は別紙の「INSネット(パケット通信)お申込書」にご記入願います。

NTT記入欄

コンサルティング項目（ご利用形態について）

＊＊＊ 必須項目 ＊＊＊
毎月の使用料（無料）

●インターフェイス形態及びレイヤ1起動識別
□ P-MP呼毎　■ P-MP常時　□ P-P

●P-MP接続の場合のレイヤ2データリンク数（9以上の場合に記入（　　））

●発信者番号通知サービス
■ 呼毎通知許可　□ 呼毎通知拒否
□ 常時通知拒否

●ユーザ間情報通知サービス
■ 着信許可　□ 着信拒否

＊＊＊ 付加機能等項目 ＊＊＊
毎月の使用料（無料）

□ 代表取扱サービス（親）（※）
□ 代表取扱サービス（子）（※）
■ 通信中機器移動通知サービス（P-MPのみ）
□ 通信中着信通知サービス（※）
□ 料金明細内訳記録（※）
■ 同番移行
□ 掲略案内サービス
□（　　）

ダイヤルQ2サービス発信規制（一部ジャンルの申込制）
□ Q申込1（識別番号3）（※）
□ パスワード1（※）
□ Q規制2（識別番号5）
□ パスワード2（※）
□ Q規制3（識別番号6）
□ パスワード3（※）

毎月の使用料（有料）

□ ダイヤルインサービス（※）
□ フレックスホン（※）
□ フリーダイヤルサービス（※）
□ グループセキュリティサービス（※）
□ INSテレホーダイ（※）
□（　　）
□（　　）
□（　　）
□（　　）
□（　　）
□（　　）
□（　　）
□（　　）

（※）印のサービスをご利用になる場合には、「付加機能受付票」等へもご記入ください。

●他のサービスを解約してINSネットを利用される場合、または、休止中INSネットを復活する場合。　■ 有　□ 無

解約されるサービスまたは、復活されるINSネット
■ 加入電話　□ 既設　□ 利用休止中
□ メンバーズネット
□ DDX
□ 専用線（品目　　）
□ その他
□ 休止中INSネット復活

●電話番号及び休止番号等（　　）
●休止電話預かり営業所（　　）
●休止電話預かり営業所コード（　　）

● 臨時利用の有無　□有 □無
利用サービス：□ INSネット　□ 加入電話　□ メンバーズネット　□ DDX　□ 専用線
利用期間：平成　年　月　日 ～ 平成　年　月　日（　　日間）

（96.5）